



よしだ 議会だより

能満寺山公園 お花見茶会

第89号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成30年5月発行
責任者 議長 藤田和寿

平成30年第1回定例会	2
一般質問 7人が町政を問う	6
29年度 議会目標に対する自己評価	13
委員会報告	14
まちの話題	16

4つの「躍動」予算

平成30年度一般会計歳入歳出予算総額 106億3,700万円

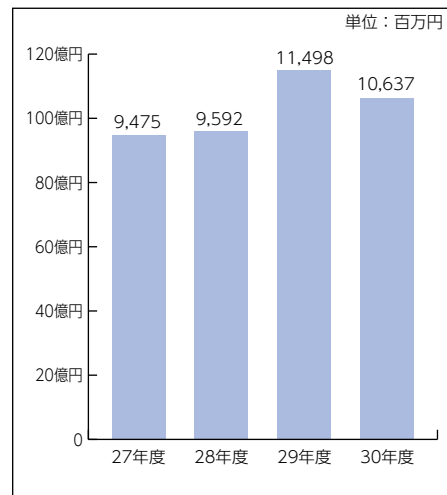
主な歳出項目		○新規事業
躍動1 教育環境の充実		
放課後児童クラブの拡充	1億6,222万円	
校務アシスタントの配置	584万円	
○部活動外部指導員の配置	268万円	
○放課後子ども教室の開設	99万円	
躍動2 新たな安全と賑わい		
同報無線のデジタル化	1億1,332万円	
○地域おこし協力隊	880万円	
躍動3 子育て支援の拡充		
若年者住宅取得応援補助	2,400万円	
○子どもインフルエンザ予防接種費助成	728万円	
○おたふくかぜ予防接種費助成	524万円	
躍動4 健康づくりの推進		
総合体育館トレーニングルームの拡充	810万円	
○笑っしょい吉田フェスティバル10周年記念事業	200万円	

3月1日から22日までの会期で第1回定例会を開催、条例の改正12件、条例の制定1件、一般会計および特別会計補正予算6件、30年度当初予算7件、規約の変更1件、町道の路線廃止・認定各1件、人事案件1件、計30議案を審議し可決、同意した。
また委員会発議による会議規則の改正1件を可決した。

ふるさとよしだ寄付金基金 充当事業

誰もが健康で生き生きと暮らせるまちづくり	4,209万円
活力あふれる産業振興のまちづくり	1,595万円
魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	1,397万円
次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	3,813万円
豊かな自然と共生するまちづくり	1,007万円
行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	108万円

4カ年の推移



一般会計当初予算の推移

一般会計予算質疑

歳入

問 法人町民税は29年度減額だが、30年度増額の要因は。

答 法人上位20社の間き取り調査を行い業績見込み額を出した。中小企業は、従業員数が増加したため均等割が増え増額になった。

問 中小企業や商店の税収をあげていくための支援策は。

答 津波防災まちづくりを進める中、産業創出に取り組んでいる。一事業の支援は難しいが、推進協議会は商工会の人に入ってもらい情報を伝えている。個別の施策は融資制度を活用する。(推進協議会とは、吉田町内陸のフロンティアを拓く総合特区推進協議会の略)

歳出

問 八女市との交流事業でスポーツ少年団が八女市に訪問した。その後の計画は。

答 八女市とは未来フォーラムを毎年行っている。今後もスポーツや文化面での交流を続けていきたい。

問 地域おこし協力隊、月20万円の報酬は妥当か。

答 非常勤であるが、妥当と考える。兼業が可能であるが届けが必要になる。別に住居費を支給する。

問 地域おこし協力隊の任期は3年だが、評価の判断基準は。

答 観光協会に勤務し町の3大イベントの参加人数を3年で15%増加、観光ではSNSで500人登録を

めざしている。

(地域おこし協力隊とは3大都市圏から吉田町に移住して地域を変える。観光協会一人・情報発信一人)

問 藤枝相良線路線バスに対して買い替えに伴い補助をする。どのような交渉を行ったか。

答 公共交通会議の中で、赤字路線が問題になっている。低床バスを購入し高校の通学や住民の交通手段の確保維持する。5年間のリースである。

・公共交通会議(バス、タクシー会社・県・吉田町・利用者など)

問 産業課内に観光協会があるが、観光協会の独立を考えているか。

答 観光協会は、町の職員が兼務し3大イベントを連携してきた。これから地域お

こし隊とも関わってくる。課題があるが独立を考えていく。

問 消防救急広域事業の効果は。

答 救急業務は北区では、初倉出張所から救急隊員の駆け付けが16件あり、3分31秒早くなった。住吉の火災でエアコンの



静岡市消防局 榛原総合病院での総合訓練

部分から出火した。静岡市消防隊がエアコン部品の欠陥が原因であると説明してくれリコールにつながった。効果は予想以上に出ている。

問 子どもの理科離れを危惧するが対策は。

答 小さな理科館の29年度利用者は減少し

た。30年度小学生低学年は昆虫や植物採集、中高学年は理科クラブを年4回行う計画である。入口もそのまま靴で入りやすくしたい。

問 就園奨励費補助金が昨年より増額だが。

答 国の子育て支援の一環で負担割合が変わってきている。所得割合で補助額を引き上げたが幼稚園と保育園の補助割合は、大きく変わらない。



町内 幼稚園

平成29年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出総額 1 億 2,490 万円を追加し、総額 119 億 577 万円となる。

歳入

- 法人町民税 (企業の業績向上により) 1 億 1,180 万円増 (5 億 4,803 万円)
- 固定資産税 (活発な設備投資により) 5,312 万円増 (26 億 9,610 万円)

歳出

- 教育総務費 (小・中学校トイレ洋式化改修、他) 3 億 3,442 万円増 (5 億 8,312 万円)
 - 商工費 (企業立地促進事業費補助金) 500 万円増 (2 億 9,765 万円)
- (総額)

一般会計補正予算の質疑

民生費

問 児童虐待防止事業費が減額になってきている。世間的にも虐待の事件が多くなっているが。

答 年間260件の相談件数があり、増えることを予想し、一人の増員を目指していたが、補充に至らなかった。

対応がおろそかにならないように、現状の職員で対応する。

農林水産業費

問 水産基盤整備事業費が減額になっているが、しゅんせつ工事など漁業事業者に影響はないのか。

答 減額した事業は、使用していない岸壁箇所、漁業関係者に直接影響はない。しゅんせつ工事は、

今年度行っていないが、31年度より計画し関係者と打ち合わせしている。

土木費

問 東名吉田から、東側道路、東名大幡線の道路舗装修繕費が減額になっているが。

答 路面調査や現地パトロールを行っているが今回、国の補助金を受けられなかった。今後計画的に進めていく。

消防費

問 自治会や自主防災会から申請のあった地震対策費が減額になっているが、急を要する事業に影響はないか。

答 宝くじ助成金が、今回受けられなかった。自治会には説明をしたが、設備の申

請手続きはしており、急を要する事業は別枠で要望する制度がある。

教育費

問 高等学校等奨学金の返還が12万円増額になっているが。この貸与型奨学金の貸付総額と、何人の生徒が借りているのか。

答 返還計画を前倒しし、二人が年度内に返金した。また、現在12人に貸与し、約291万円の貸付額になっている。

高等学校等奨学金

貸与型奨学金
年間30万円を3年間貸与卒業後、10年以内に返済を開始する。
今まで中学3年の1月までの申請が、高校在学中でも申し込みができる予定。

問 町内小・中学校のトイレ施設改修は、保護者からの臭い狭いとの要望に応えられるのか。

答 以前は、湿式トイレ張りだったが、乾式を計画しており、匂いの問題は改善できる。学校内関係者と話し合い、内開きドアは生徒の所在が判明できることから採用した。



29年度特別会計補正予算（総額）

吉田町土地取得事業 + 41万円 (1,544万円)	吉田町国民健康保険事業 △ 6,603万円 (34億 6,708万円)
吉田町後期高齢者医療事業 + 17万円 (2億 4,676万円)	吉田町介護保険事業 △ 2億 546万円 (20億 4,005万円)
吉田町公共下水道事業 △ 2,117万円 (11億 4,196万円)	

29年度特別会計補正予算

特別会計	30年度予算 (万円)	増減額 (万円)	増減率 (%)
土地取得事業	2,047	544	36.3
国民健康保険事業	28億 0,097	△ 5億 4,143	△ 16.2
後期高齢者医療事業	2億 6,571	1,936	7.9
介護保険事業	19億 1,589	△ 1億 4,248	△ 6.9
公共下水道事業	12億 0,181	5,027	4.4
5会計	62億 0,487	△ 6億 0,882	△ 8.9

30年度特別会計予算

水道事業会計		30年度予算 (万円)	増減額 (万円)	増減率 (%)
収益的 事業費	収入	5億 8,712	△ 35	△ 0.1
	支出	5億 4,386	△ 934	△ 1.7
資本的 事業費	収入	1億 1,142	2,174	24.3
	支出	4億 1,112	2,646	6.9

30年度水道事業会計

反対討論（大石蔵議員）

国保会計の運営は、国からの財政支援の拡充などにより構造的な問題を解決することとしたうえで、財政運営を県が担い、町が保険事業の実施などを積極的に果たせるような制度改革がスタートする。

しかし県の算出が大幅に遅れ、吉田町における保険料率の検討が充分できず、据え置きとなった。これでは「高過ぎる保険税を引き下げてほしい」との切実な声が届かないままとなる。

県の進める18歳未満の医療費無料化施策に加えて、町でも子育て支援の観点から国保制度改善を要望し予算案に反対する。

賛成討論

なし

【賛成多数で可決】

30年度国民健康保険 事業特別会計予算

条例の改正

吉田町職員の給与に関する条例及び吉田町一般職の任期付職員の採用などに関する条例（官民格差により初任給1,000円・その他400円勤勉手当を0.1月分引き上げる。）

議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例
例（官民格差により期末手当を0.05月分引き上げる。）

特別職の職員で常勤のもの
の給料に関する条例
例（官民格差により期末手当を0.1月分引き上げる。）

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例
例（地域おこし協力隊の報酬月額20万円を加える。）

吉田町介護保険条例

30年度から32年度まで（合計所得金額を変更）
120万円未満190万円未満を200万円未満に
290万円以上を300万円以上に

消防団員等公務災害補償条例
例（非常勤消防団員扶養親族に係る保証基礎額の加算額を改正）

人事案件

吉田町固定資産評価審査委員の選任

吉田町片岡2611番地の2
桐田不二雄氏

桐田不二雄氏

question

問

ラーニングプランとTCPの取組

answer

答

三者共益で真のトリビンス

今年度、学校の授業改善を基盤としたラーニングプラン

が完結する。その成果を今後どのように生かすか。

また、実践されている「吉田町教育元気物語（TCP・トリビンス・プラン）」の取り組みを聞く。

問 ラーニングプランの成果は。

答 先生方が調査結果を日々の授業に活かす意識が高まった。

学力定着に課題を抱える層の人数が減少した。公設学習塾により、「学習時間が増えた」など学習意欲の高まりが見える。

問 公設学習塾の拡充の方向性は。

答 放課後の居場所づくりのひとつと考へ、土曜開催をやめ平日開催とする。各

学校にタブレット端末を40台設置し、端末学習ソフトを導入してタブレット上で

問題を解き、個々の進度に合わせた学習をすすめる。

問 ALTの具体的な成果については。

答 外国語指導助手で各小中学校に1人ずつ配置している。ネイティブならではのコミュニケーションの取り方に、外国語を楽しみながら学習できていることやエ

ネルギツシユに生徒と接し、発音も聞き取やすく、生徒の聴く力、話す力を高め

ていることなどの成果が出ている。

問 小中一貫教育の推進については。

答 切れ目のない「つながりのある教育」を推進している。わが町の「中1ギャップ」の状況を踏まえ小中一貫教育を推進していく。

問 部活動の外部指導員の配置については。

答 設置者がその身分などを規定上位置づけることで、顧問や副顧問に就任し、単独での指導や大会の引率ができるようになる。身分を条例で定めたい。

問 放課後こども教室については。

答 平日4時間授業の日に、放課後の子ども居場所の確保とし、中央小学区をモデル地区に設定し実施する。

問 小中学校の教育計画の推進は。

答 現場の教員意思を共有し、直接対話する。



ALTによる授業



遠藤孝子 議員

町政を問う

question

問

地域おこし協力隊の活動方針は

answer

答

観光交流人口の拡大と情報発信

しずおか中部連携中枢都市圏事業、静岡県中部志太榛原地域連携DMO、地域おこし協力隊など新たなにぎわい事業が30年度に取り組むことが示された。これらによる、交流人口拡大、観光事業による地域活性化策について質問した。

問 静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業による地域活性化策は。

答 地域の商店などとの連携が不可欠であり、サイクルコースや休憩施設などの設置とあわせ、町内の店舗や宿泊施設などとサイクルリストを結びつける取り組みを行うことにより、当町が単なる通過点とならないよう取り組みの早い段階から、商工会や産業団体と密接に連携し、それ

ぞれにとって利益となる仕組みの構築を提案していく。

問 サイクリストの野外宿泊地の整備は。

答 都市公園、町有地などの利用が考えられる。また、必要があれば条例改正など考慮していく。
シーガーデンシティ推進委員会においても戦略のひとつとして協議していく。

問 「民泊」の推進により滞在型の観光客誘致が図られ地域経済活性化につながるかと考えるが見解は。

答 多様化する宿泊ニーズを踏まえつつ、「民泊」によって懸念される事項にしっかりと対応しながら、当町で進めるシーガーデンシティ構想の推進、中部5市2町などの近隣市町との連携が図られた「民泊」が展開できるよう検討していく。

問 地域おこし協力隊の具体的な活動は。

答 隊員は、二人委嘱する予定である。

一人は、吉田町観光協会の業務に従事し、町の三大イベントの企画、運営に新たな視点で見直しを行っていく。これ以外の多種多様なイベントとも連携強化し、観光交流人口増加を図る取り組みに携わっていく。

もう一人の隊員は、企画課において情報発信および移住・定住の促進に係る業務に従事する。

町の広報担当者として同行しSNSによるタイムリーな情報発信、企業・団体双方の情報発信ツール活用による行政と企業などとの効果的な情報連携に取り組んでいく。



観光名所 展望台小山城



増田 剛士 議員

question

問

職員定数と臨時職員の処遇改善を

answer

答

定員増、処遇改善に努める

昨年の定例議会において職員定数が13人増員され248人となったが、夜9時以降でも庁舎に明かりが付いており、業務量が行政需要に追い付かない状況ではないか。また、臨時職員の採用で業務を補完しているのが実態ではないか。

問 職員の増員予定は。

答 30年度採用は8人を予定しているが、退職者が10人おり増員とはならない。

今後、退職予定者を一人ないし二人上回る新規採用をし、10年で定員に近づけたい。

答 業務量については

毎年ヒアリングを行い職員の配置を考えている。また、超過勤務は管理職が確にチェックしている。

問 臨時職員の採用状況は。

答 臨時職員の任用や身分取り扱いは、「吉田町臨時職員等の身分取扱要綱」に定め実施している。現在の任用状況は、11課182人となっている。

問 任用期間や再任用にあたっての「空白期間」はあるか。

答 要綱に基づき、任用期間は6カ月を超えない期間となっており、6カ月が多くなっている。また、「空白期間」は社会

保険の適用や年次有給休暇の継続から逃れるためなどの理由により一部の公共団体ではあるが、当町は設けていない。

問 「同一労働同一賃金」の観点からも、臨時職員の処遇改善は必要ではないか。

答 賃金については要綱に定め、最低賃金、社会情勢、近隣

市町の状況や均衡を考慮し随時改定している。

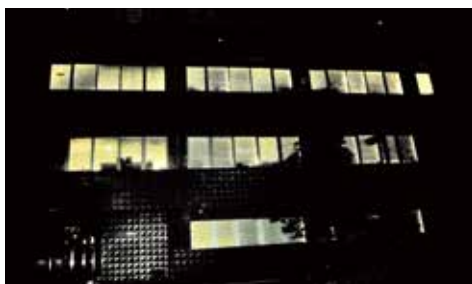
保育士については、経験年数を考慮した賃金体系とし、賃金引き上げも行っている。また、忌引など有給休暇を設けるなど処遇改善に努めている。

国の進めている働き方改革により、28年12月に「同一労働同一賃金ガイドライン」が示され施行が



大石 巖 議員

予定されており、法に基づき適切に対応していく。



夜遅くまで明るい町役場庁舎

町政を問う

question

問

津波対策で財政は悪化しないか

answer

答

財政の健全性は維持できる

町長は30年度施政方針で、「人が集い 未来にはばたたく魅力あふれるまち 吉田町」の実現のため、4つの「躍動」を旗印に全身全霊をかけてまちづくりに取り組むと表明された。その実現に不可欠な人材と財源について伺う。

問 全身全霊をかけて

まちづくりに取り組む

む真意は何か。

答 東日本大震災を境に、「津波防災まちづくり」なくして町の将来はないという強い危機感を持ち、防災施策に全力で取り組んできた。30年度から防潮堤のかさ上げ工事が川尻工区において開始される。かさ上げ工事を初めとする大津波阻止網の構築には課題が多く、町が単独で行うには技術的・

財政的に大きなリスクを抱えることとなる。今まで以上に

国、県への働き掛け

を行い支援を得る必要がある。これから

正念場を迎える大津波阻止網の構築において、

長年培ってきた経験はもとより、

あらゆる手段を駆使し、全身全霊をかけて

国への働き掛けを行い必ずや成功に導くという信念を施政

方針で申し上げた。



川尻工区

問 30年度事業計画推進のための組織体制

には。

答 現在の組織体制で推進していくことが可能である。今後、防潮堤整備が本格化

されるため国との調整窓口を強化する。

問 事業推進のための

財源の確保と将来負担

について、特に防潮堤のかさ上げ事業、

シーガーデンシティ構想を加速させるに当たって財政への

影響はどうか。

答 中長期的にも財政

の健全化が維持され安定した財政運営を行うことができると

考えている。「津波防災まちづくり」を

迅速かつ強力に進めた結果、起債残高は

増加したが、交付税措置のある大変有利

な地方債を借り入れるようにした。実質



大塚 邦子 議員

公債費率や将来負担比率は健全性を示す基準数値に収まり、財政の健全性は維持されている。また、「津波防災まちづくり」を推進した結果、大津波に対するリスク回避から見送られてきた新たな企業進出や既存企業による設備投資が回復基調になりつつあることから、増収が見込まれる状況になった。

answer

答

到達はかなり先のこと

question

問

北区に下水道は来るのか

29年度の事業計画にて、計画区域340ha、管渠建設費および浄化センターの維持管理費は239億4500万円。全体計画920haの整備に要する費用は残り155億8400万円、期間は55年と試算された。下水道事業の継続は可能か。

公共下水道事業への町民税からの繰入金(万円)と利用増軒数				
年度	25	26	27	28
繰入金額	6億3,546	5億8,629	6億4,282	5億9,834
利用増軒数	56軒	76軒	12軒	16軒

吉田町全体面積	全体計画面積	計画区域面積
2,073 ha	920 ha	340 ha

問 現在の浄化センター1棟の汚水処理能力で計画区域面積340haの汚水は処理できるのか。

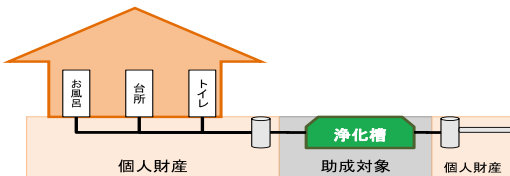
答 現在処理層は2池であるが3池必要であり、新しい浄化センターの建設が必要となる。

問 配管の耐用年数は50年、開始から25年以上が経過した。残りの整備に55年かかり、あと25年で開始時の配管は使用限度を迎える。北区の事業開始前に再生が必要となるが、北区にも下水道は来るのか。

問 事業区域外や計画区域外の町民は税の負担のみで受益がなく不公平である。掛川市では環境省の助成事業【下記資料】を利用して1702基を設置している。町のこれからの方向性は。

答 環境省が行っている事業がより効果的で効率的ということになれば、どういった方策が一番好ましいか検討していく。

浄化槽に係る国庫助成の概要



【標準的な工事費用】

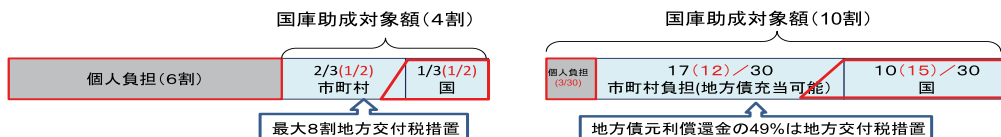
5人槽(通常型)	83.7万円
5人槽(高度型)	102万円
7人槽(通常型)	104.3万円
7人槽(高度型)	113.4万円

浄化槽設置整備事業 (S62～)

- 個人が設置し、市町村が設置費用(本体+施工費)を助成する事業。
- 個人が維持管理を行う。
- 市町村の負担は小さいが、個人の負担は増える。

浄化槽市町村整備推進事業 (H6～)

- 市町村が個人の住宅に設置する。
- 市町村が維持管理を行う。
- 個人の負担は減るが、市町村の維持管理事務が増える。



注) 環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業、沖縄、離島地域において、助成率は1/2となっている。



山内 均 議員

町政を問う

question

問

津波防潮堤整備、町の費用負担は

answer

答

躯体部分に関しては負担なし

「30年度には、『津波防災まちづくり』の最重要施策である防潮堤のかさ上げ工事が開始される」と町長の施政方針があった。川尻地区の防潮堤整備が現実のものとなり住吉地区でも大いに関心のある事業であるため質問した。

議」の中で協議、調整を行い、地元住民に説明していく。

く、ということでご理解願いたい。



八木 栄 議員

問 盛土工事のおおまかな工事内容とその工程は。

答 天端保護工、背後盛土工であり、天端保護工は3月末でほぼ完了。主たる工事は、既存の海岸堤防の背後盛土となる。国、県の建設発生土を流用し、30年5月に着手予定。今後3年間で完成を目指し調整する。

問 背後盛土工の財源は。

答 ベースとなる躯体部分に関しては、負担はないが、にぎわいづくりの中での部分的な所や海浜回廊については、町が負担する。

問 この防潮堤整備事業は、町長が「全身全霊をかけて取り組む、私が一人でやっている」と言っている。町長自身に何か事故などあった場合でも事業がうまく進むようにしておかなければならないと思うが。

答 国が私以外相手をしていない。私との信用関係だけで動いている。非常に難しい問題であるが、私が健康で、できるだけ早い段階に目途が付くように話をしている。

問 川尻海岸に続いて住吉海岸の防潮堤整備に入るが、住吉の人達への住民説明会など、どのように計画しているのか。

答 漁港から西側の住吉海岸の防潮堤整備

問 背後盛土用建設発生土を搬入する際、車両の運搬経路の説明はするののか。

答 国土交通省、静岡県、吉田町の三者で組織された「吉田町川尻工区事業調整会



天端保護工が完了した防潮堤（川尻）

question

問

現金取り扱い事務の検証結果は

answer

答

複数人の確認体制がとられている

放課後児童クラブ利用料の一部の業務上横領事件は、細心の注意で行うべき公金業務であり、町民に大きな衝撃を与えた事件である。発生から1年が過ぎようとしており、事務の検証および業務改善について質問した。

問 事件発生以前の現金事務の確認はどのように行っていたか。

答 複数人で確認を行う体制であり、クラブ開設以来事件までは収納率も100%で問題はなかった。

問 確認体制があったのに、なぜ事件まで4カ月も発見できなかったのか。

答 複数の手によらず、一人で事務処理をするシステムに変更がされたことを、

チェックすることができなかった。

組織の管理体制の甘さを非常に反省している。

問 今回のような事務処理が、他の業務になかったか。

答 全体を調査した結果、なかった。

問 調査した現金取り扱い事務の件数は。

答 総務課で全課・局を10月から12月にかけて調査した結果、8種類で64件の事務

があった。

問 現金の長期保管はあったか。

答 小山城や総合体育館などの施設で、集金日を設け保管していたので、改善した。

問 全ての事務で出納簿はあったか。

答 台帳がある。

問 検証結果を受けどのように改善したのか。

答 収納事務を一人で扱わないシステム構

受領時の
人数体制

保管方法

現金との照合

会計課への
処理方法

現金受領から入金までの検証項目

築に向け、全ての現金取り扱い事務に対応する統一的なマニュアルを作成し、2月から本格実施している。

問 首長として、検証結果とともに、コンプライアンス徹底を含めた方針を、町民に対し報告すべきと考えるが。

答 対策を講じた内容について、町民に説明を行う必要があると考えており、機会を捉え検討していく。



藤田和寿 議員

議会目標に対する 議会の自己評価の結果

目標	取組内容	評価	評価理由
会議の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員活動で得た情報や問題点を共有化し、課題の解決に向け議論する。 ・ 委員会活動の充実を図る。 ・ 議案審議方法を検証し、より良い審議方法を検討する。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の解決に向けての議論にはまだ努力が必要であると感じる。 ・ 委員会活動は行っているが、課題等の議論が不十分。 ・ 審議方法の改善は議論できたが、課題の解決に向けての議論は不十分。
情報の発信を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会中継に向け取り組む。 ・ 議会フェイスブックの充実を図る。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会中継の前進がない。 ・ 議員の認識が不十分。
議員の責務を果たす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員研修を行い、議会活動に反映させる。 ・ 吉田町議会基本条例を遵守する。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員研修は行ったが、議会活動への反映は不十分。 ・ 議会の決定が守られなかった。
住民意見を反映する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前会議の周知と開催に向けた支援を行う。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前会議を支援し、1回開催したが、その後の周知活動がなかった。

評価基準は「設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×」

総務文教常任委員会調査報告

生活交通の確保について

29年12月議会で議会閉会中の調査事項を決定しました。

・調査事項

生活交通の確保について。

・目的

地域の生活交通および公共交通の確保・維持、利便性の向上について調査研究する。

・委員会報告

1月23日

今後の調査内容および方向性について協議した。

2月21日

方向性の検討と具体策を協議した。先進市町の事例を参考にして交通システムなどについて協議した。

委員長 山内 均

産業建設常任委員会調査報告

道路・河川及び都市公園の管理及び整備について

豪雨時の道路冠水や劣化した道路の補修、河川の改修や管理について、町民から行政に対する要望を調査、研究する。

1月25日

河川の現地調査を行った。

- ・大幡川（下流）
 - ・稻荷川（中・下流域）
 - ・住吉川
 - ・湯日川（北区、片岡）
 - ・坂口谷川（排水機場）
- 県外の視察調査は日程調整がつかず今年度は中止する。

2月19日

現地調査の結果、以下の項目について意見集約した。

- ・当局の説明で不明な点はないか
- ・吉田町総合計画に基づく事業実施・計画の問題点
- ・地元住民の要望が行政に反映しているか
- ・冠水対策の抜本的解決策とは
- ・2級河川の配水対策の問題点および抜本的対策
- ・予算の付け方、補助金との関係

3月8日

当局より以下の点について説明を受けた。これまでの当局の説明において理解が不十分な事項
30年度の河川整備に係る実施計画と予算案

委員長 大石 巖



稲荷川の湯日川水門



大幡川しゅんせつ工事

「議会改革推進会議」の設置を決定

3月1日の定例議会において、吉田町会議規則の一部を改正する議案を委員会発議し、全会一致で可決しました。

【改正点】

会議規則第17章「全員協議会」に「議会改革推進会議」を加える。
第122条を加え、
（議会改革推進会議）
第122条 法第100条第12項の規定により議会の運営に関し協議又は調整を行うための場として、議会改革推進会議を設ける。

2 議会改革推進会議は、議員全員で構成し、座長が招集する。
以下略

【趣旨】

吉田町議会基本条例第14条に基づき、議会改革の推進に取り組む。

3月7日に議会改革推進会議を開催し、座長を増田剛士議員、副座長を大塚邦子議員に決定した。

吉田町教育改革特別委員会

12月12日

第6回

- ・TCPトリビンスプランの新しい方向性について協議した。
- ・視察先の検討について、次回協議する。
- ・次回、特別委員会にて、教育委員会に対する疑問点を質問し、回答を受ける。

12月22日

第7回

- ・TCPトリビンスプランに関する疑問点について「当局より説明を受け質疑した。
- ・今回の回答を受け、TCPトリビンスプランの新しい方向性についての問題点、疑問点について文章を整理した。
- ・配付資料の中で、京都市教育委員会の



住吉小学校 入学式

- 資料を参考にするため、当局の京都市視察報告レポートの提供を要請し、協議を進めることに決定。
- ・放課後児童クラブ利用希望アンケート調査集計結果について、当局に資料提供を求めらることに決定。

2月23日

第8回

- ・新しい方向性のトリビンスプランに関する疑問点について、文章を整理した。
- ・文章整理したものを、質問事項として教育委員会へ提出し、回答を求めらることに決定。

委員長 八木 栄

住みよいまちづくりのために、議員、役場担当者(課)の奮闘に感謝!

定例会を傍聴いただきありがとうございます。昨年1年間のアンケートにお寄せいただいたご意見・感想を紹介します。

第1回定例会(3月・11人)

29年度の予算を審議する議会でした。

(感想なし)

第2回定例会(6月・23人)

総合体育館耐震工事契約などの議案を審議する議会でした。

・初めての傍聴、もっと気楽に傍聴できるシステムを。

・議会傍聴は初めて、長時間の話は非常に疲れた。

・受付や傍聴の仕方がわかりにくい。

・健康づくりの事業の件はよかったです。

第3回定例会(9月・76人)

28年度決算と教育改革に関する一般質問に5人が。

・大変参考になった、これからは議会に関心をもっていきたい。

・教育改革が熱心に話し合われ

将来が頼もしいと思う。

・言葉がはっきりしないのでよく理解できないことが多い。

・寝ている人がいるのはよくない、ふんぞり返る姿勢も議会としてはどうなのかと気になった。

・傍聴席が狭すぎる、目の前を人が行ったり来たりするので集中できない。

・

・

第4回定例会(12月・14人)

29年度補正予算などを審議する議会でした。

(感想なし)



町議会傍聴席

議会フェイスブックページから、議会情報の発信中。

こちらからどうぞ

<https://www.facebook.com/yoshidachougikaiict>

動画や写真のスライドショーなど、議会活動の様子をご覧ください、ご意見をお寄せください。



(QRコード)

吉田町議会主催

第16回議会報告会のお知らせ

30年度予算など議案審議における質疑、生活交通の確保について報告を致します。車座になって懇談しましょう。みなさんのお越しをお待ちしております。

前回までの報告書はHPをご覧ください。

日程		内容
5月21日(月) 北区自彊館	23日(水) 住吉会館	☆定例会審議の状況
22日(火) 片岡会館	24日(木) 川尻会館	☆生活交通の確保について
時間 19時~21時		☆意見交換

問い合わせ 議会事務局 33-2141



吉田公園 チューリップ祭り



しらす漁の解禁



総合体育館 リニューアルオープン



林泉寺 長藤まつり

まちの話題



あとがき

3月議会が終わり、予算などを審議・可決しました。

野にはレンゲ草、吉田公園のチューリップ、能満寺公園のソメイヨシノの花が咲き乱れ地域が一段と華やぐ季節を迎えたのも束の間、家庭や農家では夏野菜の苗などが植えられ収穫が待たれますね。秋の爽りに向けて田植えも始まります。

私たち議会広報委員の任期もあと一年となりました。皆さんに親しまれる議会広報作りに取り組んでまいります。

(M・M)

議会広報特別委員会
委員長 三輪美由紀
副委員長 山口一博
委員 藤田 昌代
大石 巖

三輪 正邦
河原崎昇司